

議会報告会報告書

開催日時	平成29年10月15日（日） 14時00分 ～ 15時30分	
開催場所	三浦市役所 議場	
報告対象者	三浦市内在住・在学の中高生	
出席議員	代表者	草間道治
	司会者	藤田 昇
	報告者	布川照美 ・ 草間道治
	記録者	下田 剛
	その他	岩野匡史議長 他8人の議員
参加人数	23人 他、傍聴7人	
報告会の概要	<p>三浦市議会議長あいさつ</p> <p>議会運営委員長より趣旨説明</p> <p>三崎地区担当議員の紹介</p> <p>1 共通テーマ 平成28年度決算について 報告後、質疑応答</p> <p>2 会場別テーマ 「夢をかたる」について 四つのグループに分かれてディスカッション</p>	

	参加者からの質疑	議会の回答
報告に対する 質疑応答	1. 平成28年度決算について ①資料の中の表で数字の前に△の印が ついていますが、意味を教えてください。	1. 平成28年度決算について ①それは、マイナスを示しております。 黒一色で印刷する際には目立つ ように△印を使用致しております。 △の色に区別はなく両方ともマイナ スを示します。

ディスカッションの説明	ディスカッションの内容・報告
2. 「夢をかたる」について 第二部は四グループ（A・B・C・D）に分 かれてディスカッションを行ないました。 予め決めておいた各グループで、簡単な自己紹 介をし、予め決めておいたリーダーが発表をし た。進行は各グループの議員が行なう。 右記グループの代表者の発表を記載させて頂き ます。 右記に記載させて頂いたグループ発表の文面 は、発表の言葉のまま記載させて頂いており、 言葉や内容の修正は致しておりません。 公職選挙法も変わり、18歳から投票が出来る ようになりました。そういった動きの中で教育 委員会や選挙管理委員会も模擬選挙や投票の方 法を学校に伺ったりしております。今回このよ うな機会に参加して頂き、議会を知って頂きグ ループディスカッションをして頂きます。そこ では、皆様若い方々の将来三浦についてどのよ うな夢を描いているのか語って頂き、我々議員 の話も少し聞いて頂けたらと考えています。短 い時間ではありますが、そこで交流を深めてい こうかと思えます。どうか宜しくお願い致しま す。	Aグループ 主に、子供・子育てのサポート。観光。高齢 者の配慮について話し合いました。 まず、子供のサポートでは、待機児童問題か ら、三浦市は幼稚園や保育園が多いので子育て 支援をもっと広げていって、そのような子育て が出来る街にしていき、人口増加に繋げていけ たら良いという話が出ました。また、学童を増 やすことや、難しいことではあるが市内に高校 や大学を作ることで三浦市に住んでもらい、将 来的に三浦市で就職するという事に結びつけ られたらいいという話にもなりました。 観光については、休日等のバスがかなり混ん でいるので、バスの本数を増やすことを企業に 頼んでも良いのではないかという話が出まし た。基本的に、観光に来ている方々は城ヶ島や 三崎港に下車することが多いですが、剣崎方面 を通るバスを増やせば、そちらの方面にも観光 に行って頂けるかなと思いました。また、広い 道路が三浦市には一本しかないので、それも何 本か増やしていくことで渋滞の解消や災害時の 避難経路の確保にもつながると思いました。ま た、三浦市は場所によってミラーがなかったり 、街灯が少なかったり危険な箇所があるので、 そこも問題だと話が出ました。 高齢者の配慮で、選挙の際に移動式の投票所

を作ることで、指定された投票所まで行けない高齢者達も投票出来ることになり投票率も上がるのではと思いました。再度になりますが、バスの本数を増やすことで、高齢者の方達が座席に座れるのではとも思いました。

Bグループ

三浦海岸の海を有効に利用出来ないかという話をしました。三浦市では毎年市民スポーツ大会を開いているが、それを三浦海岸で行なったらどうかという話が出ました。市民スポーツ大会で行なう競技は、砂浜を利用したビーチフラッグや野菜等を埋めて宝探し等にしたらどうかと、たくさん意見が出ました。他にも、市民スポーツ大会だけでなく、夏に海の家を利用して写真スポット等を作って若い人を集めるようにしようと話が出ました。最近はSNS等を利用して発信したくなるような情報をもっと増やしたらいいのではないかと意見が出ました。

最後に、三浦市の改善点を話し合いました。まずは、最近、三浦市では老人ホーム等がたくさん建っているが、子育てにももう少し力を入れれば人口増加に繋がるという話が出ました。あとは、通学路の整備、道路の整備をしたらもう少し暮らしやすい三浦市になるのではないかと話が出ました。

Cグループ

主に、二つの意見が出ました。

まず一つ目は観光です。三浦市は海・山そして海の幸が豊富で、観光資源が豊富な街です。チャッキラコ等の伝統文化もあり、観光に適した街だと思います。ですが、まだ三浦市には宿泊施設が充実していなかったり、レストランが無かったり、観光客にとってあまり良い環境では無いのかもしれませんが。また、公共交通機関を利用し、バスや鉄道を利用し、もっと観光客を誘致すべきだという話が出ました。さらに、

マリンスポーツ等、観光客にとって新しいものを持ち出すことで観光客を誘致しようという意見も出ました。

二つ目は、住んでいる人にとって住みやすい街にするという事です。具体的に言えば、団地にエレベーターを設置する等、高齢者にとって住みやすい街にするという意見が出ました。また、夜間の安全を確保するために、道路に街灯を設置する等、住んでいる人にとって住みやすい街にすること、それが一番大切なのだという意見が出ました。以上のことにより、三浦市はもっと住んでいる人にとって住みやすい街、そして、ずっと住んでいたいと思えるような街にすること。さらに、今ある環境を残すことで活気のある街にしていこうという意見が出ました。

Dグループ

三浦市の人口減少が問題になっているので、それについて話し合いました。

人口減少の問題で、まずは人を三浦に呼び込もうという事に動く。呼び込むために、現状、市ではPRが少ないと思う。そのPRというもの、若者を狙ってSNSでの様々な情報の拡散はかなり大きいのではないかと思います。そこで、市のサイトもそうですが、SNSで海南神社の祭礼やチャッキラコが一月に行なわれる等、または三浦市の特産物の宣伝や店舗の紹介等も発信していけば良いと思います。でも、それはスマートフォンやパソコンを持っている人だけの話になってしまいます。三浦市に住む高齢者や市外の高齢者を呼び込むためにも、チラシやポスター等を使うのがベストだと考えます。また、そういったチラシやポスターの作製も三浦市の企業を使います。その紙面にはQRコードをつければ、高齢者も見られるが、そのポスターやチラシを見た若者も調べることや知ることが出来ます。これがPRの一つかと思

	<p>ます。</p> <p>三浦市に来て、桜まつり、屋根の無いバス（オープントップバス）、まぐろきっぷ等で人が来ている中、三浦市にこういうものがあつたら住みたいと思ってもらえるものとして、例えば駅の近くにスーパーがあるとか、大型の洋品店があるとか、便利さを知ってもらえたらと意見が出ました。三浦って良い所だと思ってもらい、そこでトライアルステイで空き家に二週間住んで頂き、やっぱり三浦って良い所じゃないかと思ってもらうことで、住んでみたいと思う人が増えるのではないかと、それが人口の増加に繋がっていくのではないかと考えました。</p> <p>また、学校の環境や道路について、現に大雨の日に体育館が雨漏りしたり水浸しになったり、道路が舗装されていない等、そういうところは課題だと今思っていますので、そのようなところも改善していけば、人口増加に繋がっていくのではないかと思います。</p>
--	--

上記のとおり報告します。

平成29年11月30日

議会運営委員長 様

報告者 下田 剛

議会報告会の様子

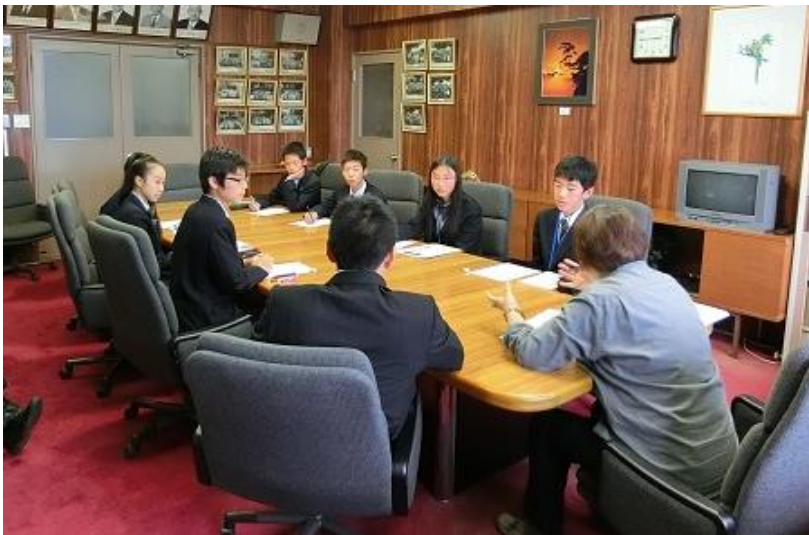


○三崎地区担当の班員

左から

記録	下田 剛	議員
報告者	布川 照美	議員
代表者	草間 道治	議員
司会	藤田 昇	議員

○報告会会場の様子



○ディスカッションの様子